

身近なことから憲章の実践を！ さあ、今日から始めよう、子どものために

行動理念 **子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。**

- 子どもをしまった後は抱きしめます。
- 子どもの目線を見て、子どもの目線で一緒に考えます。
- 子どもを車に乗せるときは必ずチャイルドシートに座らせています。
- 大事な子どもを皆で守ります。



行動理念 **子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。**

- 子どもができないことは親も一緒にやってできるまでやります。
- 親も子育て一年生。あなたと一緒に学びます。
- 乳幼児や児童とその保護者同士が楽しくふれ合い、子育てについての意見交流等をする子育てサロンや語り合いサロンに親子で参加します。
- 休みの朝、体操のお兄さんになって、子どもたちと思いっきり体を動かして遊びます。



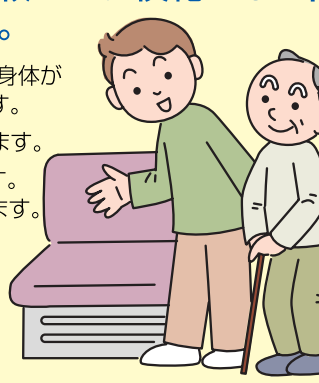
行動理念 **子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。**

- 朝夕、子供を見かけたら「おはよう」「おかえり」と声を掛けます。
- 子どもの下校時間、なるべく外で庭仕事などをしながら見守ります。
- 地域の祭り、歩こう会等で地域の子どもたちと仲良くします。
- 学校や児童館、こどもみらい館等でのボランティアに参加します。



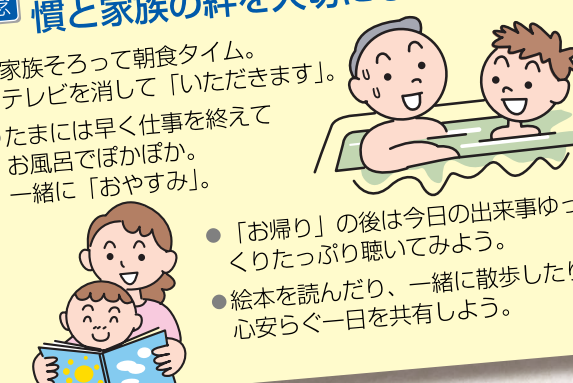
行動理念 **子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。**

- 電車・バスの中で、妊婦や身体が不自由な方に席を譲ります。
- ゴミの分別廃棄を推進します。
- 子どもとの約束は守ります。できないときは訳を話します。
- きれいな言葉使い、敬語をきちんと使うように心がけています。



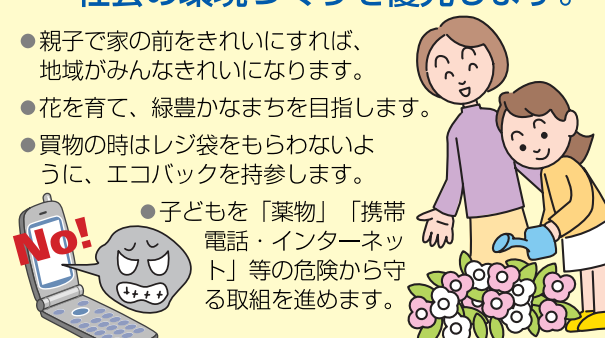
行動理念 **子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。**

- 家族そろって朝食タイム。テレビを消して「いただきます」。
- たまには早く仕事を終えてお風呂でぼかぼか。一緒に「おやすみ」。
- 「お帰り」の後は今日の出来事ゆつくりたっぷり聴いてみよう。
- 絵本を読んだり、一緒に散歩したり。心安らぐ一日を共有しよう。



行動理念 **子どもを育む自然の恵みを大切に、社会の環境づくりを優先します。**

- 親子で家の前をきれいにすれば、地域がみんなきれいになります。
- 花を育て、緑豊かなまちを目指します。
- 買物の時はレジ袋をもらわないように、エコバックを持参します。
- 子どもを「薬物」「携帯電話・インターネット」等の危険から守る取組を進めます。



京都市保健福祉局
子育て支援部 児童家庭課
TEL 075-251-2380 FAX 075-251-2322
京都市教育委員会事務局
生涯学習部 家庭地域教育支援担当
TEL 075-251-0456 FAX 075-222-2061

詳しくはHPをご覧ください。

子どもを共に育む京都

検索



子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
子どもと共に育む京都市民憲章を実践しましょう！

子どもを共に育む京都市民憲章

子どもたちの今と未来のため、人と人の絆を結び、共に生きるうえでの行動規範としての市民憲章

このリーフレットでは、市民の皆様の具体的な実践行動をご紹介します。
子どもたちの今と未来のために、あなたも意識して、始めてみませんか。

わたくしたちのまち京都には、子どもを社会の宝として、愛し、慈しみ、将来を託してきた、人づくりの伝統があります。

そうした伝統を受け継ぎ、人と自然が調和し、命のつながりを大切にして、子どもを健やかで心豊かに育む社会を築くことは、京都市民の使命です。

大人は、子どもの可能性を信じ、自ら育つ力を大切にして、子どもを見守り、褒め、時には叱り、共に成長していくことが求められます。そして、子どもを取り巻く状況を常に見つめ、命と健やかな育ちを脅かすものに対して、毅然とした態度で臨む必要があります。

わたくしたちは、子どもたちの今と未来のため、家庭、地域、学校、企業、行政など社会のあらゆる場で、人と人の絆を結び、共に生きるうえでの行動規範として市民憲章を定めます。

わたくしたちは、

1 子どもが存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。

1 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。

1 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。

1 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。

1 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。

1 子どもを育む自然の恵みを大切に、社会の環境づくりを優先します。

平成19年2月5日（育児ニコニコ笑顔の日）制定
同年3月13日京都市会が「子どもを共に育む京都市民憲章」を積極的に推進する決議

“京都力”を結集して誕生した「子どもを共に育む京都市民憲章」は京都の誇りです。

この理念を共有する行動の輪をみんなで広げ、子どもが健やかに育つ京都のまちづくりを進めていきましょう。

京都市長 門川 大作

